

# 館蔵企画展「生誕120年—宮本十久一展」

2月13日(土)～3月28日(日) 青梅市立美術館



△《冬の家族》紙本着色 1934年

宮本十久一（1909～82年）は、現在の文京区本郷で生まれ育った人物です。中学校卒業後に川端美術学校に学び、一方で吉川<sup>きつかわれいか</sup>霊華に私淑し、大和絵画法を独習することによって、日本画家への道を歩み始め、1920年に開催された第1回中央美術社展に出品された《四国路》は、一部の識者に評価されました。

しかし、1923年の関東大震災による実家の焼失等により、経済的な理由から画家になることは断念せざるを得ず、以降は定年退職するまで、公立学校の美術教師として生計を立てることになりました。それでも、絵画に対する情熱を失わず、仕事の合間にスケッチを描き、定年退職から死去までの約20年間は、その活動をより活発化させ、膨大な水彩画や素描を残しました。

本展では、所蔵する大小さまざまな作品の中から約70点を紹介します。身近な風景に対する、十久一の暖かな眼差しをご鑑賞ください。

**会期・時間** 2月13日(土)～3月28日(日) 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

※月曜日は休館

**主催・会場** 青梅市立美術館

**観覧料** 大人200円、小・中学生50円

※障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方1人は無料(障害者手帳を提示)

※市内在住の65才以上の方は無料(免許証、保険証など住所と生年月日の分かるものを提示)

※市内の小・中学生は土・日曜日、祝日は無料

※青梅市吉川英治記念館との共通観覧券(大人600円、小・中学生200円)を販売しています。

**その他**

▷新型コロナウイルス感染防止対策の一環として、会期中のギャラリーガイド等の開催はありません。

▷展示替え等のため、2月12日(金)まで臨時休館となります。

▷新型コロナウイルスの感染状況により、会期、開館時間が変更する場合があります。来館の際は、市立美術館ホームページ <https://www.city.ome.tokyo.jp/site/art-museum/> をご覧になるか、電話でお問い合わせください。

**問い合わせ** 市立美術館 ☎24-1195

次号の発行は2月15日です

市主催事業等へお出かけの際は、マスクの着用、体温の測定、手指の消毒にご協力ください。体調がすぐれない場合は、ご遠慮ください。

**270**  
古紙・ハルブ配合率70%再生紙を使用  
石油系溶剤を含まないインキを使用

**リサイクル適性** (A)  
この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。